

2021年12月8日、名寄市立大学で榎本さん&田中さんが「北海道の農と食」をテーマにトークセッションを行いました!



12月8日、名寄市立大学図書館講堂を会場に「北海道の農と食」をテーマとしたトークセッションが行われ、講師として榎本さんと田中さんが登壇しました。職員派遣として4月から名寄市で勤務している2人は、市外の人間だからこそ



感じる名寄の魅力や、それぞれの姉妹都市・交流自治体の紹介、最後には人生の先輩として、学生時代にしかできないことを楽しもうとエールを送り、参加した学生たちからの大きな拍手で幕を閉じました。



きらめくまちビト

榎本 絵理子 & 田中 総一郎

令和3年4月から姉妹都市である「山形県鶴岡市」と交流自治体である「東京都杉並区」から職員派遣として名寄市役所で働いている榎本さんと田中さん。本市で暮らして感じたことや目標などをインタビューしました。

名寄の春・夏・秋、そしてこれから体験する冬、どれも表情豊かでワクワクします

名寄の第一印象は?

田中 予想していたよりも便がないです。普段の買い物は東京と比べても不自由がありません。それと、緑がとてきれいだなという印象です。視界一面に青々とした緑が見渡せるというのは経験がありません。

榎本 夏がとて暑かったです。36℃ぐらいの日もありましたよね。今年が異常だったと聞いていますが、仕事するのも大変でした。ですが朝や夜は、スツと気温が下がるので、そこはやっぱりいいですね。

地元はどんなまち?

田中 杉並区は東京近郊の中で基本的に人が住む住宅地です。その中に芸術や音楽など文化的なものも少しあります。

榎本 鶴岡市も文化的な街です。食文化だったり、もともと城下町なので歴史的な文化もあったりと。治めていた庄内藩の藩主の子孫の方が今も鶴岡市に住んでいて、お殿様がいる街でもあります。

名寄と比較していかが?

田中 杉並も緑があふれる住きました。配属が経済産業振興室で、事業系の部署です。昔の部署と似ているところがあり、その分良かったなと思っています。今までは、道の駅の運営管理や観光協会などと連携しながらひまわり観光やサバイバルゲームなどの事業を行っています。現在は観光振興計画の第2次を策定中で、雪質日本一フェスティバルの開催などを頑張っています。

宅都市とつたつていますが、名寄市には遠く及びません。

緑と大自然で根本が違うんだなと実感しています。あと、道路が広くとてもいいなと思ってる矢先、降雪で一気に狭くなりました。雪のせいで広くなっているのかと思うほど、雪が降るのかななんて思っています。

榎本 名寄に限った話ではないのですが、道路がきれいな暮盤の目に整備されていることにびっくりです。鶴岡市は城下町なので、城があったところを起点に集約するよう道が作られています。でするので急にくねったり、斜めになったりしているのですが、名寄はほとんどありません。

仕事は何をしているの?

田中 前は文化・交流課文化振興担当に所属し、業務としては座・高円寺(杉並芸術会館)という劇場の運営や管理をしました。メインは演劇ですが、芸人のライブなども開催されます。ほかにも文化・芸術に関する補助金交付業務などを行っています。そこに4年間在籍し、5年目で名寄市に

の地ならではの魅力や特色を、相互に役割分担しながら連携や協力していき、安心して暮らせる地域を形成するということをしています。この前には、13の市町村長様に来てもらい市町村長会議を開催しました。

やってみたいことは?

田中 スキー・スノーボはうまくなくて帰りたいです。あと冬道運転、除雪も笑。

私に陶芸を極めたいです。

榎本 私は陶芸を極めたいです。風連でやっている陶芸教室に参加しています。これまでに4作品つくって、これからもいろいろつくっていきたいです。

皆さまにひとこと!

田中 多くのイベントが中止されましたが、これからはコロナ対策を講じながら開催できればと考えていますので、皆さまと一緒に楽しめるよう勤めていきます。

皆さまに直接お会いして何かという仕事ではないのですが、なかなか伝えづらいので、関わることがあります。

榎本 皆さまに直接お会いして何かという仕事ではないのですが、なかなか伝えづらいので、関わることがあります。よろしくお願います。

Profile
田中 総一郎 (たなか そういちろう)
 平成6年6月生まれ。東京都杉並区出身。平成29年に杉並区に入庁し、文化・交流課に所属。令和3年4月から交換派遣職員として名寄市で勤務。現在は奥さまとともに名寄で2人暮らしを満喫中。趣味はバスケットと野球観戦で、ひいきのチームであるスワローズが日本一になりご満悦。

杉並区はどんなまち?
 杉並区は東京23区の西端に位置し、23区中8番目の広さを持っています。世界有数のアニメスタジオ集積地としても有名で、区のキャラクター「なみすけ」は、区内外多くの方に親しまれおり、武蔵野の面影を色濃く残している「中央線文化が生まれるサバルのまち」です。

Profile
榎本 絵理子 (えのもと えりこ)
 山形県鶴岡市出身。平成26年に鶴岡市に入庁し、福祉課や長寿介護課などの業務を経験。令和3年4月から交換派遣職員として名寄市で勤務。先日鶴岡市に帰省した際にペットのネコに忘れられていてショックを受けたとのこと。マイブームは陶芸で、風連陶芸センターに足繁く通っている。

鶴岡市はどんなまち?
 山形県庄内平野の中心に位置し、霊山月山、秀峰鳥海山を望む豊かな緑と文化の薫る田園のまちです。庄内有数の米どころで、つや姫・はえぬぎ誕生の地でもあります。情緒あふれる温泉地でもあり、湯治場としても人気です。鶴岡市合併前から姉妹都市盟約を結んでいる藤島地域では日本一のふじの里を目指しており、伝統芸能である勇壮活発な獅子踊りは、全国屈指の獅子郷であるといわれるゆえんです。